

二〇二四年

三重若菜会会報

1. 昇級・昇段者

昇級・昇段	氏名＊学年は昇級時	時期・大会
C級・二段	古屋 琢人 (大1)	2月三重県
	村木 悠悟 (高2)	2月三重県
	五藤 歩果 (大1)	3月桑名
	伊藤 翼 (高2)	3月桑名
	中川 華恵 (中3)	5月大垣
	山田 明奈 (中2)	5月大垣
	松浦 香菜子 (高2)	6月愛知
	石垣 慶士 (高2)	6月愛知
	金丸 千夏 (高2)	6月愛知
	近藤 春美	6月シニア選手権
	山田 雄三	10月フェスティバル
	奥野 陽春 (高2)	10月フェスティバル
	井倉 七菜花 (小5)	11月信州
D級・初段	金丸 千夏 (高1)	1月桑名
	中川 義一	2月三重県
	田中 海音 (中1)	2月三重県
	鷺野 早希 (高2)	6月愛知
	研谷 令子	6月愛知
	竹尾 奏 (大1)	6月愛知
	桐生 菜々美 (大1)	6月愛知
	井倉 七菜花 (小5)	9月静岡
	井倉 早紗乃 (小4)	9月静岡
	佐藤 結花 (高1)	10月フェスティバル
	武田 幸祐 (大1)	10月フェスティバル

2. 個人戦大会入賞者

A 級	【四位】	太田 智絵	(6 月女流選手権)
	【四位】	太田 智絵	(12 月愛知)
B 級	【三位】	植村 涼寧	(12 月愛知)
	【四位】	植田 清美	(9 月富山)
C 級	【三位】	森 愛菜	(11 月奈良)
	【四位】	谷川原 景子	(1 月桑名)
D 級	【優勝】	山田 明奈	(5 月大垣)
	【準優勝】	五藤 歩果	(3 月桑名)
	【準優勝】	伊藤 翼	(3 月桑名)
	【準優勝】	中川 華恵	(5 月大垣)
	【三位】	松浦 香菜子	(6 月愛知)
	【三位】	石垣 慶士	(6 月愛知)
	【三位】	金丸 千夏	(6 月愛知)
	【三位】	近藤 春美	(6 月シニア選手権)
	【三位】	井倉 七菜花	(11 月信州)
	【四位】	石垣 孝介	(7 月高校選手権)
E 級	【優勝】	金丸 千夏	(1 月桑名)
	【優勝】	桐生 菜々美	(6 月愛知)
	【優勝】	研谷 令子	(6 月愛知)
	【優勝】	竹尾 奏	(6 月愛知)
	【準優勝】	井倉 七菜花	(9 月静岡)
	【三位】	井倉 早紗乃	(9 月静岡)
中学 3 年生 の部 C ～ E 級の部	【四位】	中辻 初菜	(8 月中学生選手権)
5 年生の部	【三位】	井倉 七菜花	(11 月小中学生福井)
4 年生の部	【三位】	國保 真智	(11 月小中学生福井)
3 年生の部	【四位】	中川 來優	(11 月小中学生福井)
小学 2 年生 以下	【四位】	中川 來優	(3 月小中学生)

(以下、昇級者の内、四名から寄稿いただきました所感です。)

憧れのC級

暁学園かるた部 山田 明奈

私は五月五日に大垣大会で優勝を果たし、C級になることができました。D級からC級の壁は高く、全国大会で一回戦敗退を何度も経験し、数え切れない悔しい思いをしました。私はその時かるた歴六年目だったので、始めて一年も経たない友達にもD級に追いつかれ、かるたを好きと思えなくなったときがありました。それでも諦めず、部活やかると会などでたくさん練習し、優勝することが出来ました。私のかるとの強みは、正確さと聞く力です。しっかり音を聞くことによって正確さを磨いています。最近は一音目で飛び出すことができます、とても感じが良い人が多く私みたいな音を聞いてから取るというタイプより先に札に手が出ているので、少し不利だなと感じることが多々あります。しかし、お手つきをするリスクを考えると、私のかるとも悪くは無いのかな

と考えるようになりました。だからと言って、C級に上がるためにはできるだけ速く動かないといけないので、一音目で動く練習を大会前に沢山しました。

大会では、勝てるか負けるか分からない試合も多く、集中力や体力が削られました。なんとか三試合勝つことが出き、C級になれるとわかった時の感動は今でも忘れません。その後も何とか勝ち進め、決勝に来ることができました。決勝は五試合目で、あまり日頃から五試合することがなかった私は、足も痛くて集中も思うようにできなくて、五試合することがとても大変なことだと痛感しました。何とか粘って優勝することができ、とても良い思い出になりました。

これからも諦めずに楽しんで、かるた仲間と続けていきたいなと思いました。

長かったD級

桑名若菜会 山田 雄三

コロナが明けて地域制限や仕事の都合で、全国大会に始めたのがC級に上がる半年前。

少ない試合経験で、モチベーションも上がらない中、一つ一つの出られる大会で練習の成果を出す事がいかに難しいかと思い知らされた。

何度かチャンスはあったが中々勝ちきれず、後から始めた人達に追い抜かされていき、昇級したい焦りからこのままD級から出られないと思っていた。

その中で県内大会(交流フェスティバル)は、日曜開催で比較的上がりやすい大会なので、もう此処で優勝するしかないという覚悟で臨んだ大会でした。

対戦した人達も同じ気持ちなのか中々勝たせてもらえず全試合苦戦し、その後B級にまで上がった人もいるという難しい大会でした。

その中で優勝できたのは運の良さもあるのかと。出札、狙い札など運もこの競技では必要な一つだと感じた。

C級でもいつか来る昇級チャンスの為に、練習会で技術を身につけていきたいです。

青春を謳歌しています

桑名若菜会 井倉 七菜花

二〇二四年九月に開催された第五十八回全国競技かるた静岡大会(E級)で準優勝し、初段を取得しました。

その後の二〇二四年十一月に開催された第八回全国競技かるた信州大会(D級)で三位入賞し、弐段を取得しました。

小学校五年生の二〇二四年七月から若菜会に入会させていただきました。かるたをはじめてすぐは、毎試合、札を取れることが楽しくて仕方ありませんでした。実際の試合の勝ち負けはあまり関係なく、格上の選手との対戦で一枚でも札を取れることもすごく嬉しかったです。たまに下剋上を達成すると、自分が強くなっていることが実感できました。

強くなった秘訣を改めて振り返ってみると、普段、日

常生活でかるたのことを常に考えることが納得のいく取りをすることにつながるのかなと考えています。学校の授業中に暇な時間があると、この札がここにあつたらこう取るなどを想像したり、自陣の positioning を繰り返して唱えたりしています。あとは、学校の三十分休みには、タブレットで札流しをしています。やっぱり札流しと払い練、あとは、試合を重ねていくことが強くなる秘訣だと思っています。小学五年生の時は、毎週一試合以上取ること心をかけていました。ひと月平均五十試合以上、多い月だと七十試合を超えます。井倉家は家族四人でかるたをしています。家でも時間があれば、誰かとは対戦できるのがありがたいです。

初段に昇段した静岡大会は、正直あまり覚えていません。周りの選手が強く見えたことは覚えています。二段に昇段した信州大会は、後援大会なので昇段はないと思っていたので、純粹にかるたを楽しむと思うって参加しました。気軽に楽しく大会に出場できたことが良い結果につながったかもしれません。

私のかかるたの強みは、「手元で聞く」ことだと思っています。対戦した他の選手からは「年配の取り」と言われることもあり、少しショックですが、将来A級になった

時にこの武器が活けると信じて、このかるたを貫こうと思います。

今は中学受験の勉強を頑張っているのですが、かるたの練習は週五回くらいできていません。受験生のこの一年は、特に楽しくかるたをすることと、実力をキープすることを目標に頑張っていきたいと思っています。運が良ければ、小学生B級になりたいと思っています。大会には積極的に出場して、早く負けても観光を楽しみます。

中学受験に合格したら、勉強か恋愛かかるか、その時に何を頑張るかはまだわかりませんが、青春を謳歌します。

かるた技の習得に熱心し、初段を授かる

桑名若菜会 井倉 早紗乃

二〇二四年九月に開催された第五十八回全国競技かるた静岡大会（E級）で三位入賞し、D級初段を取得しました。

（今回は、早紗乃本人が作文するのは難しかったので、パパとのインタビュー形式で回答してもらい、文字

起こしています。)

Q 1. 競技かるたとの出会いは？

A 1. 二〇二四年三月、小学三年生の春休みにアニメちはやふるを見て、札を取る速さがすごいと思つて、興味を持ちました。その後すぐ四月からパパと七菜花と一緒に、初心者練習会に参加してみました。最初は意外に難しいと感じましたが、続けてやってみようと思ひました。百首覚えるのはすごく大変でしたが、小学校の三十分休みなども使つて、頑張りました。百首覚えてからも、札流しは大変で、「わび」と「なにわえ」など見た目が似ている札をすぐに判断するのが難しかったです。上下逆さになると混乱します。七月から桑名若菜会に入れてもらつて、同じくらいの強さの人とたくさん練習して、実力をつけるように頑張りました。

Q 2. 昇段を決めた要因はどんなことでしょうか？

A 2. 毎日練習を頑張ったことと、毎回長い時間集中することを心がけました。昇段した大会は二回目の大会でしたが、めっちゃ緊張しました。でも、目をつぶったり深呼吸をしたりしながら、気持ちを少し落ち着けて、

いつもの実力の半分くらいは出せました。

Q 3. 大会は緊張しますか？

A 3. すごく緊張します。いつも心臓バクバクです。結果を出せるように頑張ろうと思つて大会に臨んでいます。相手が強かったりしても、相手の体力を削れるように、最後の一枚まで粘ることを心がけています。勝つても負けても、相手の心に残る選手になりたいと思つて、かるたをしています。

Q 4. 自分のかるたの強みはどんなことですか？

A 4. 体がまだ小さいので相手陣はまだ届かないところがあります。自陣の左右下段をきっちり守つて、鉄壁にしています。

暗記自体はまあ普通ですが、暗記時間が苦手で、暇すぎます。試合中は、何が読まれたか、どこに札を送ったか送られたかなどを考えているので、集中しています。

Q 5. かるた以外で頑張っていることはなんですか。

A 5. ピアノ、体操、遊び、勉強です。ピアノは、コンクールに出場したりするために、毎日九十分間以上練

習しています。体操、遊び、勉強は、今の自分の趣味です。

Q 6・将来の夢はどんなことですか。

A 6・前までは、専任読手になることでしたが、最近
は読みはちよつとお休みしています。今は、ピアノスト
をを目指しています。かるたに関しては、家での練習も含
めて週一回以上は練習をして、近場で開催される大会に
はなるべく出場します。中学三年生までには、忒段に上
がりたいです。

3. 団体戦の記録

成 績	参加選手	時期・場所	大会名
桑名高が三重県代表として出場 Eブロック1回戦 1勝4敗 敗退 (対：浦和第一女子高)	内山 采音 伊藤 翼 谷川原 采音 村木 悠悟 石垣 孝介 金丸 千夏 松浦 香菜子 石垣 慶士	7月、 近江 神宮	高校 選手権
予選リーグ Fブロック2勝1敗 (予選敗退) 対徳島 3勝2敗 対高知 5勝0敗 対茨城 1勝4敗	内山 采音 伊藤 翼 村木 悠悟 高橋 茉央 山田 侑佳 石垣 孝介 藤本 菜月 池谷 早織	8月、 岐阜	高校総合 文化祭
予選リーグ Gブロック2勝1敗 (予選敗退) 対大阪 3勝2敗 交流戦(対北海道、 神奈川) 3勝2敗 対福井 0勝5敗	山田 明奈 中川 華恵 中辻 初菜 田中 海音 西 理那 笹之内 妃音 庄村 慈	8月、 東京	中学生 選手権
A. 砂丘 対広島 2勝1敗 対東京 3勝0敗 対奈良 0勝3敗 準優勝	太田 富夫 中村 久美子 藤本 真理子	10月、 鳥取	ねんりん ピック
C. 投入堂 対神奈川 2勝1敗 対秋田 2勝1敗 対山口 2勝1敗 優勝	中西 明子 岩名 幸一 中島 礼子 大平 幸江		

予選リーグ	太田 峻友	11 月、 岐阜	国民 文化祭
Lブロック 3勝0敗	佐竹 寛		
対中国 5勝0敗	太田 智絵		
対米国 5勝0敗	久 知嗣		
対岐阜A 3勝2敗	村井 彩夏		
決勝トーナメント	植村 涼寧		
対岐阜A 2勝3敗	藤田 一真		
ベスト16	諸岡 和奏		

発行日 二〇二五年八月三十日

発行行 三重若菜会

発行責任者 村上 智 洋